

代表履歴紹介

川野 弘樹(かわの ひろき)

1. 少年時代

一部を紹介しますと、小学校時代にはいじめを経験し、つらい小学校時代を送る。小学校時代を卒業すると同時に、徐々に服装の乱れ・バイクによる暴走・たばこ・けんか(傷害)などを繰り返し、俗に言われる不良「地元で問題児」と呼ばれる。中学校時代も変わることなく、両親・教師にも迷惑をかけた荒れ狂った学校生活。高校に入学するも、問題を起こしては停学・無期停学といったことの繰り返しで、学校生活に付いていくことができずに退学。暴走により仲間を亡くしたり、周りでは薬物による犯罪・事件など問題を起こす。次第に夜の世界へと足を踏み入れ、裏世界の方々と知り合うようになる。そんな中15歳で家出をし、寮生活を送りながら定時制高校に入学し、卒業。



上の2枚の写真は、10代前半に撮影したものです



上の写真は、二十歳当時の写真です

2. 看護師時代

定時制高校を卒業後は地元(福岡県大牟田市)を離れ、各地を転々としながらの生活。20歳前後に地元(福岡県大牟田市)に戻り、様々な事を経験し、色々な問題を解決後、人の為になれるような仕事を目標に看護師を志す。その後看護師の資格を取得し、精神科で勤務するものの、そんな中での友達の自殺があり、様々な悩み、青少年の健全育成、問題を抱える方々の「相談窓口」になりたいという思いから、「メンタルケア」の資格取得後、看護師仲間と**「特定非営利活動団体 Heart Land 夢翔塾(はーとらんど むしょうじゅく)」**を立ち上げる。



上の写真は、看護師時代の写真です

3. 現在(夢翔塾での活動)

夢翔塾を立ち上げ後、他団体と連携を図りながら、直接家庭を訪問する「訪問型」支援を中心に、青少年の不登校・引きこもり・いじめ・非行・不適応問題など、様々な悩みを抱える子どもたちの「心のケア」「問題解決」をはじめ、成人の方では自分自身・人間関係・教育問題・ニート問題など、様々な悩みを持つ方の「心のケア」「問題解決」を行い、各地で自分自身の体験談、ニート問題などの様々な講演活動を行っている。カウンセリングを受けられた方に送るメッセージとして、「心の旅人 心人(こころびと)」として「書」「T-シャツ」などの展示会などを行い、またホームページ上で公開したところ全国から問い合わせあり。また事業の一環として、福岡県青少年アンビシャス運動にも団体登録をし、学生さんから社会人、または高齢者の方々にボランティアとして参加していただき、子どもの居場所作りを行っている。

以上、履歴の一部を紹介しましたが、他にもここでは書ききれないほど様々な経験をしています。